



令和7年度 地区別住民懇談会

宇出津小学校区

能登町役場 2 階大集会場／午後 6 時半から

目次

01 開会

02 町長あいさつ

03 出席者紹介

04 説明

インフラの復旧・復興見通し

公共施設個別施設計画の見直し案

復興公営住宅の整備計画案

地区別復興まちづくり計画案

05 意見交換

06 閉会あいさつ

07 閉会

01

公共土木施設等の 復旧・復興見通しについて

(建設水道課長)

災害復旧事業(公災)の発注方針

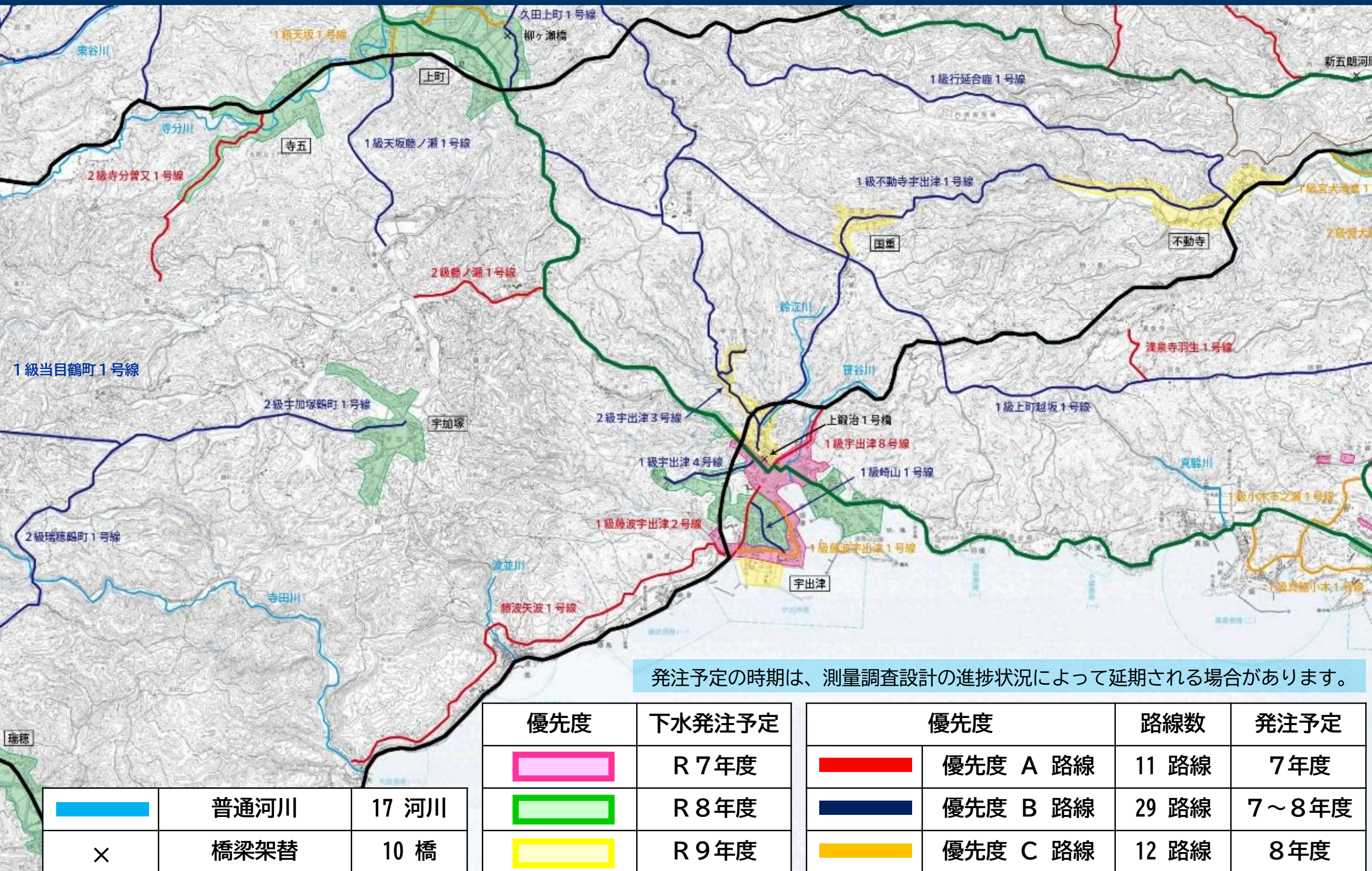
区分	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度
上水道	道路の優先度及び上下水の被災度を考慮した区域		その他地区の被災箇所	
下水道				
道路(町)	主要幹線道路（緊急輸送道路、幹線１・２級町道） 不通道路		左記以外の道路 ・ 集落内道路 ・ 生活道路等	
きょうりょう 橋梁(町)				
河川(町)	人家連担（近接）部で特に被害が甚大な区間 農地、農業用施設部		左記河川における R7年度～R8年度実施 以外の区間	

概ね完了

概ね完了

概ね完了

インフラ施設 復旧計画図



主要町道復旧計画

主要町道復旧計画

(注) 発注予定の時期は、測量調査設計の進捗状況によって延期される場合があります。予定は随時更新します。

R07.11.01 時点

[illegible]

主要町道復旧計画

主要町道復旧計画

(注) 発注予定の時期は、測量調査設計の進捗状況によって延期される場合があります。予定は随時更新します。

R07.11.01 時点

[illegible]

02

農林水産業施設の 復旧・復興見通しについて

(農林水産課長)

災害復旧事業(公災)の発注方針

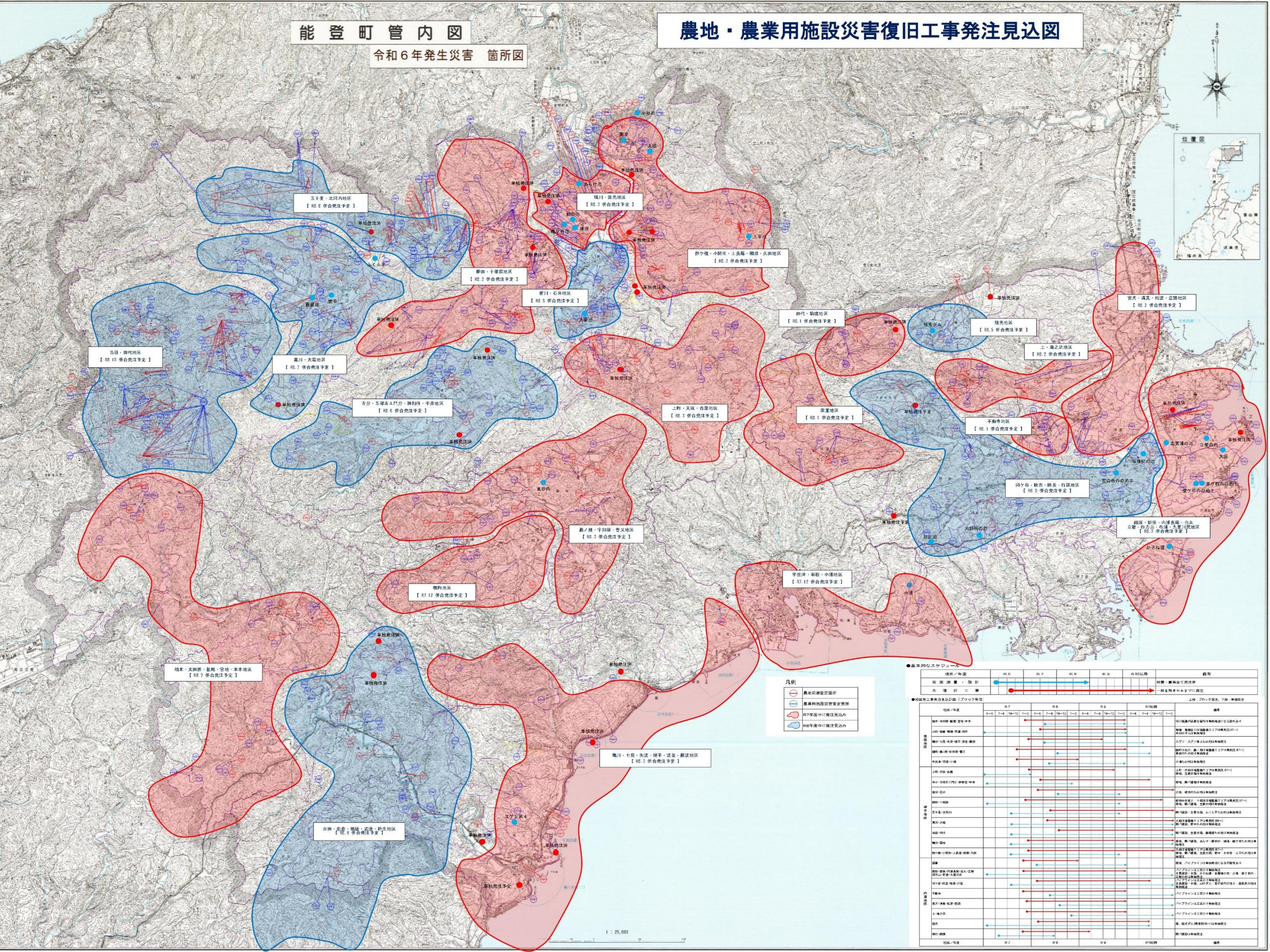
区分	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度
農林治山	各地区の営農ニーズを踏まえた 優先整備施設 避難路や幹線道路へのアクセス 路となる農道・林道 林地崩壊箇所		その他地区の被災箇所	
漁業施設	漁業活動に不可欠な施設 背後集落に被害が及ぶ施設		その他地区の被災箇所	

概ね
完了

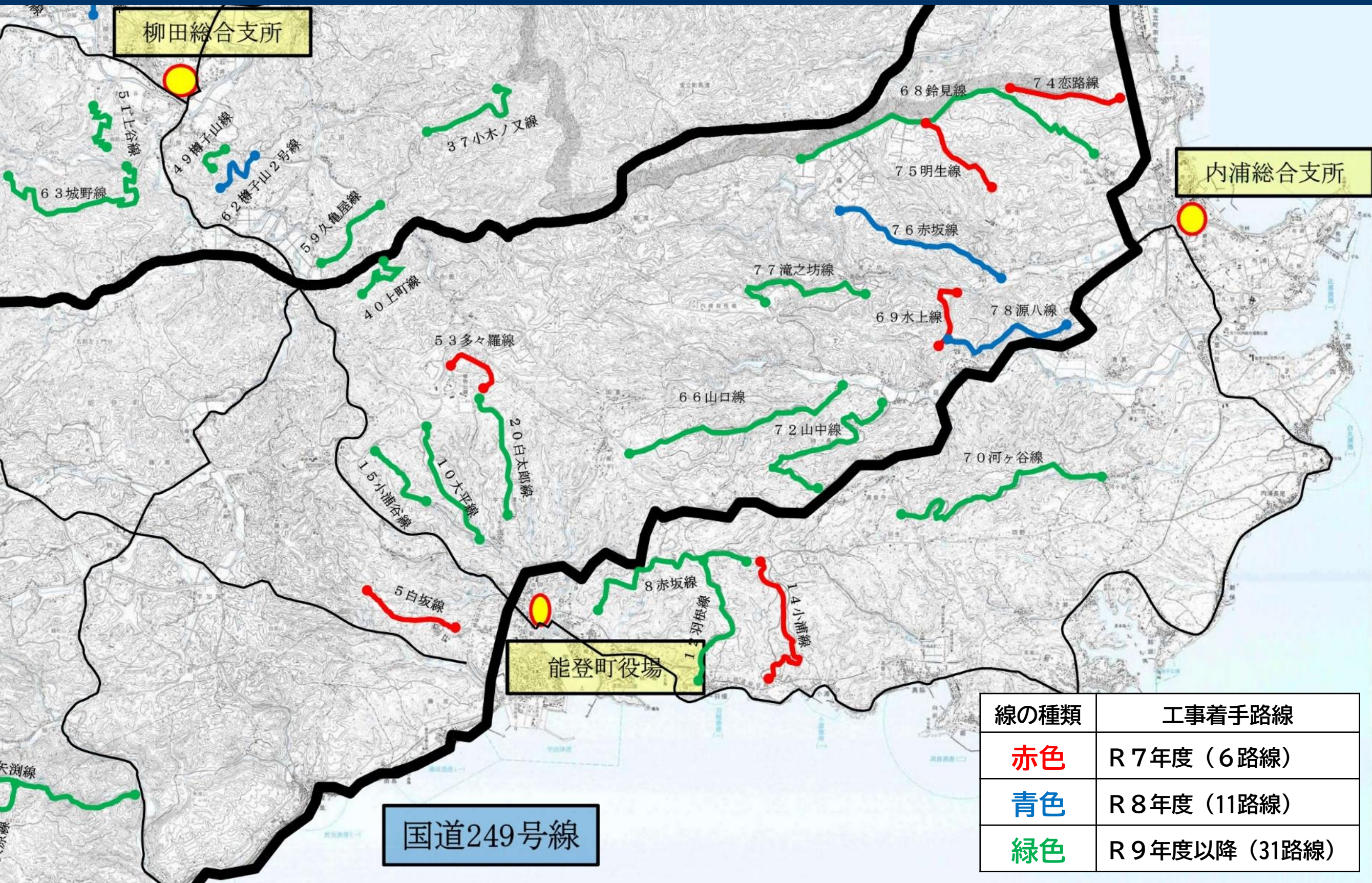
概ね
完了

令和6年発生災害 箇所図

農地・農業用施設災害復旧工事発注見込図

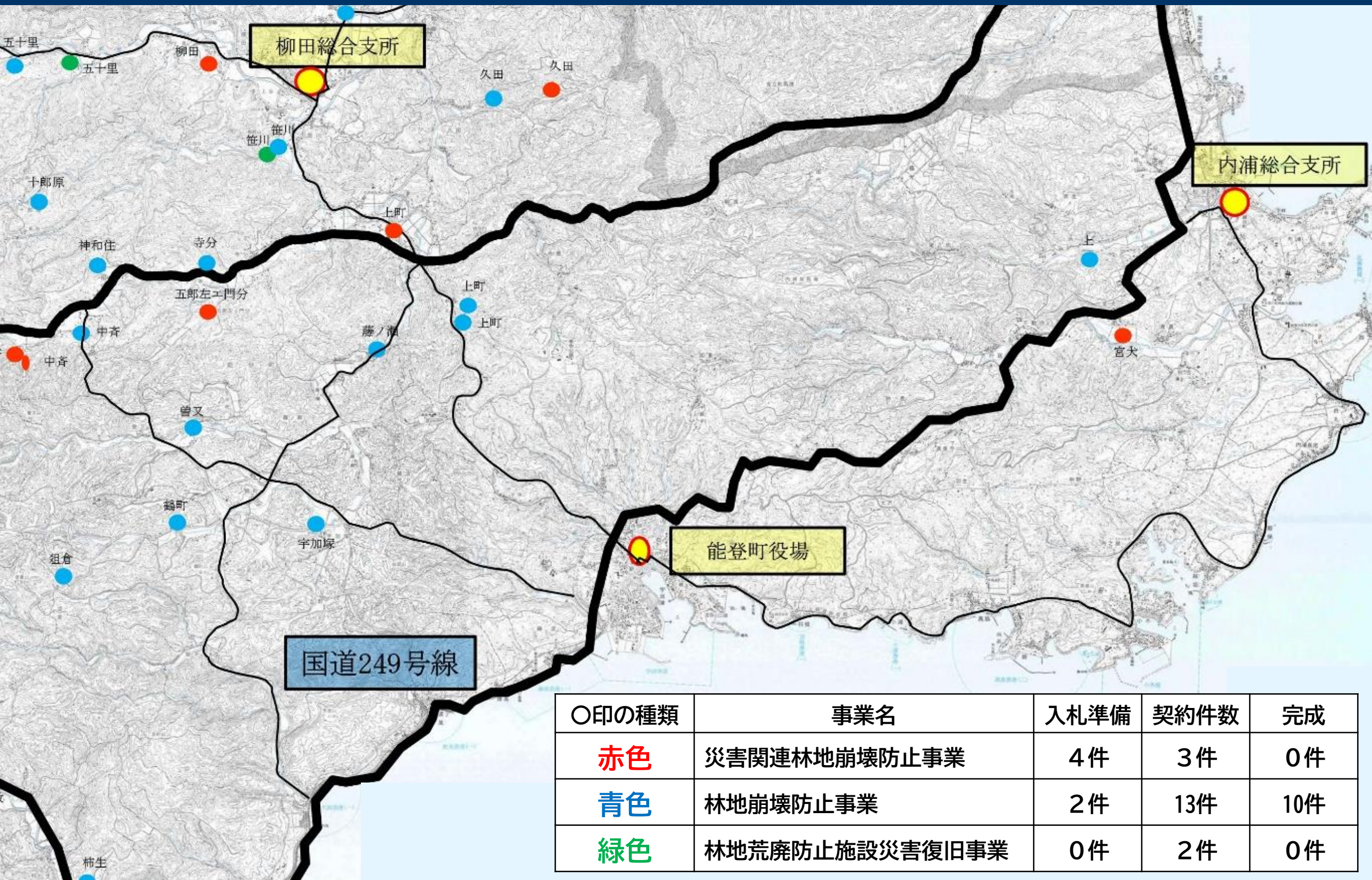


林道 災害復旧路線位置図



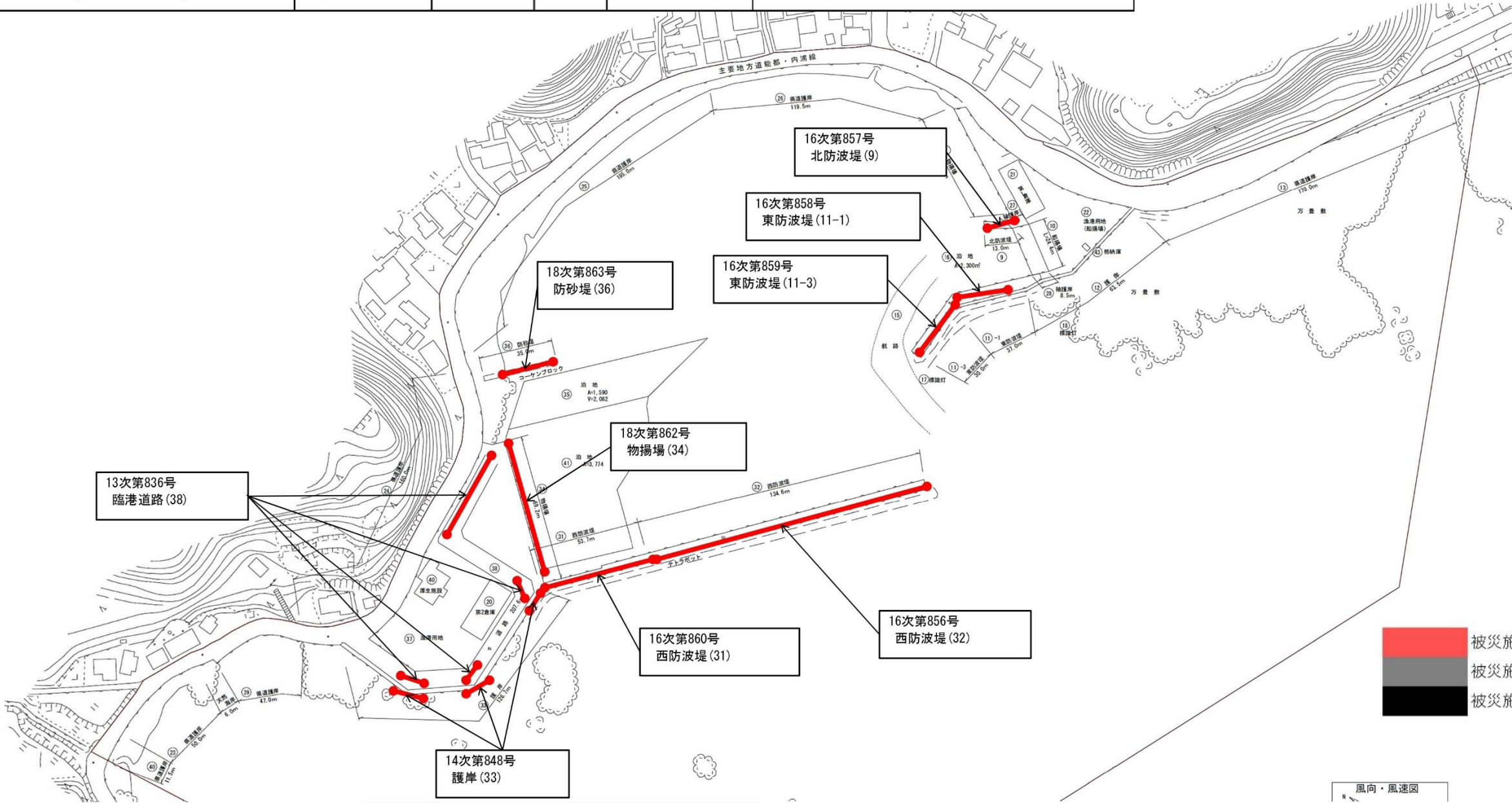
線の種類	工事着手路線
赤色	R 7年度（6路線）
青色	R 8年度（11路線）
緑色	R 9年度以降（31路線）

治山工事位置図（34か所）



○印の種類	事業名	入札準備	契約件数	完成
赤色	災害関連林地崩壊防止事業	4件	3件	0件
青色	林地崩壊防止事業	2件	13件	10件
緑色	林地荒廃防止施設災害復旧事業	0件	2件	0件

小浦漁港 (おうら)	漁港番号	種 別	所管	管 理 者	施工場所
	2410270	第1種	本土	能 登 町	石川県鳳珠郡能登町字小浦



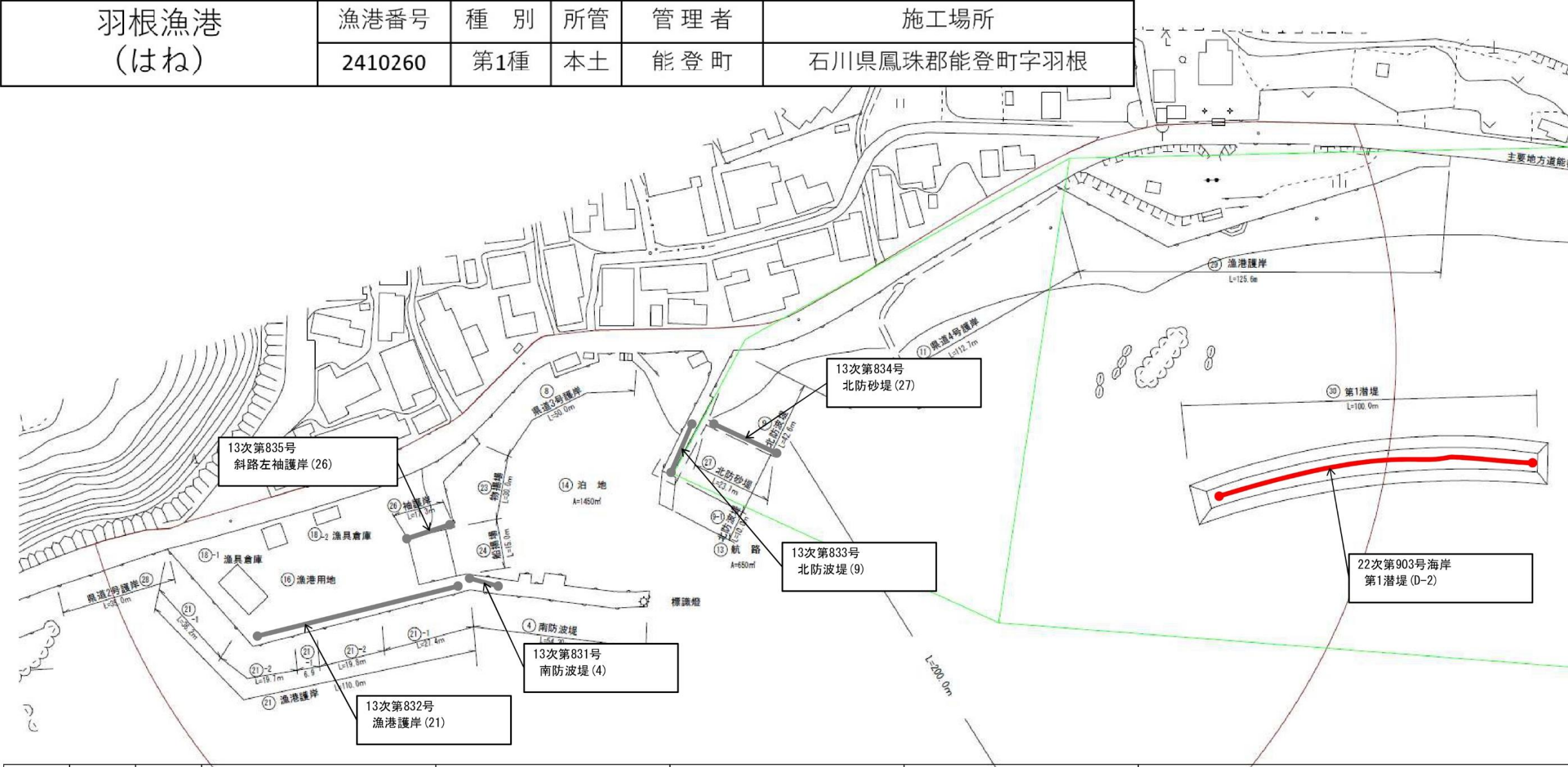
工事番号	施設	大規模 通常	R6年度				R7年度				R8年度				R9年度				復旧概要
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
858	東防波堤(11-1)	大規模																	復旧延長L=26m {東防波堤(11-1)L=36.7m(本体工L=26m、土留工L=15.6m、消波工N=128個、捨石工V=100m3)}
859	東防波堤(11-3)	大規模																	L=30.9m(上部工L=14.3m、消波工L=30.9m)
857	北防波堤(9)	大規模																	復旧延長L=10.8m {北防波堤(9)L=13.8m(本体工L=10.8m)}
856	西防波堤(32)	大規模																	L=136.3m(上部工L=6.1m、消波工N=332基)
860	西防波堤(31)	大規模																	L=54m(消波工N=122基)
863	防砂堤(36)	大規模																	L=27.5m(消波工N=60個)
848	護岸(33)	大規模																	L=49m(本体工L=49m、舗装工A=74m2)
862	物揚場(34)	大規模																	L=70.4m(本体工L=5.5m、舗装工A=154m2、止壁工L=5.5m)
836	臨港道路(38)	大規模																	L=74m(舗装工A=542m2、排水構造物工L=58m)

海上工事
陸上工事

測量・調査
地質調査
設計
工事

上段：予定
下段：実績
変更協議

羽根漁港 (はね)	漁港番号	種 別	所管	管 理 者	施工場所
	2410260	第1種	本土	能 登 町	石川県鳳珠郡能登町字羽根



工事番号	施設	大規模 通常	R6年度				R7年度				R8年度				R9年度				復旧概要
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
831	南防波堤 (4)	大規模																	L=4.7m (上部工V=3m3、水叩コンA=13m2)
833	北防波堤 (9)	大規模																	L=26.2m (上部コンL=26.2m)
834	北防砂堤 (27)	大規模																	L=23.1m (消波ブロック製作N=37個)
832	漁港護岸 (21)	大規模																	L=76.5m (側溝工L=48m、擁壁工L=17m、舗装工A=207m2)
835	斜路左袖護岸 (26)	大規模																	L=17.3m (本体工L=17.3m)
903	第1潜堤 (D-2)	大規模																	L=100m (被覆工N=583個)

海上工事

陸上工事

測量・調査

地質調査

設計

工事

上段：予定

下段：実績

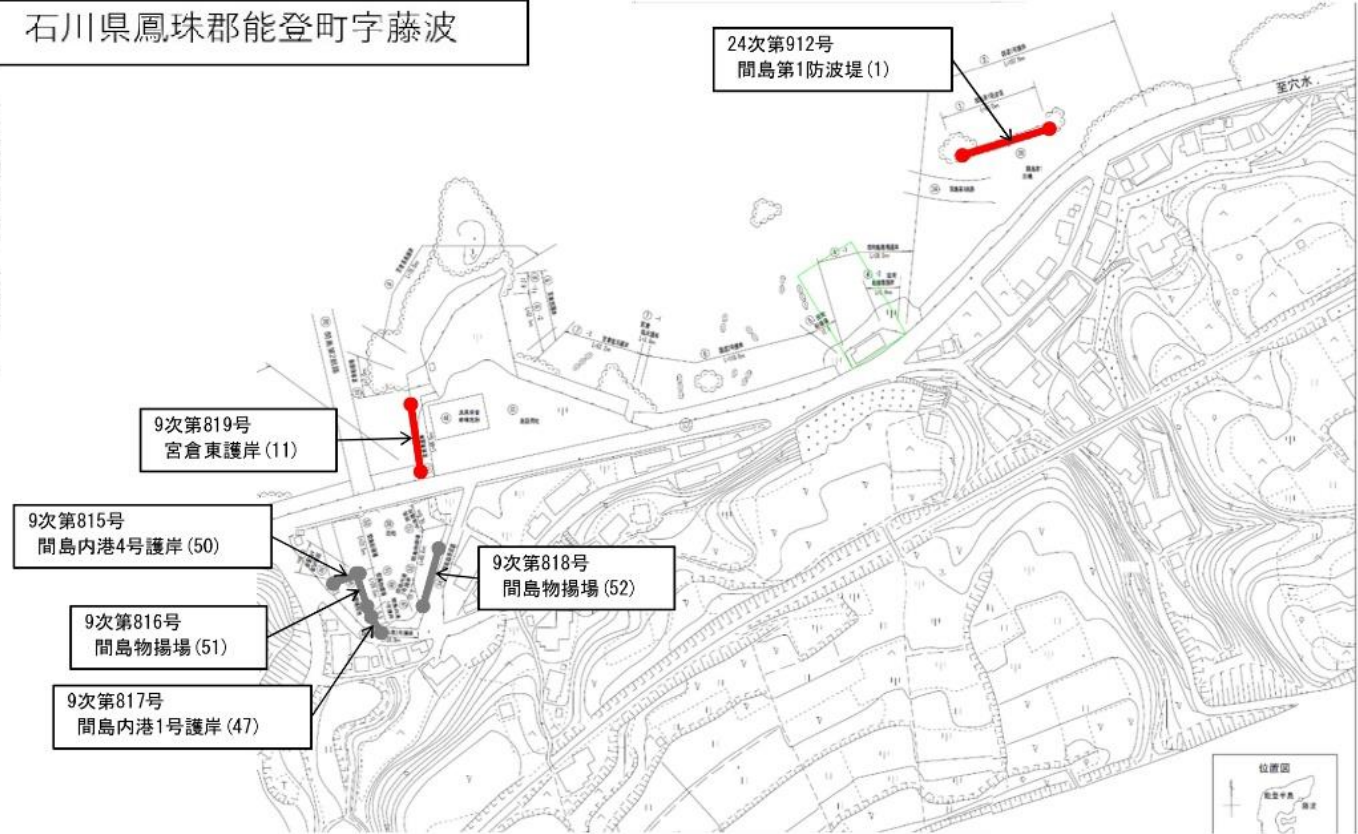
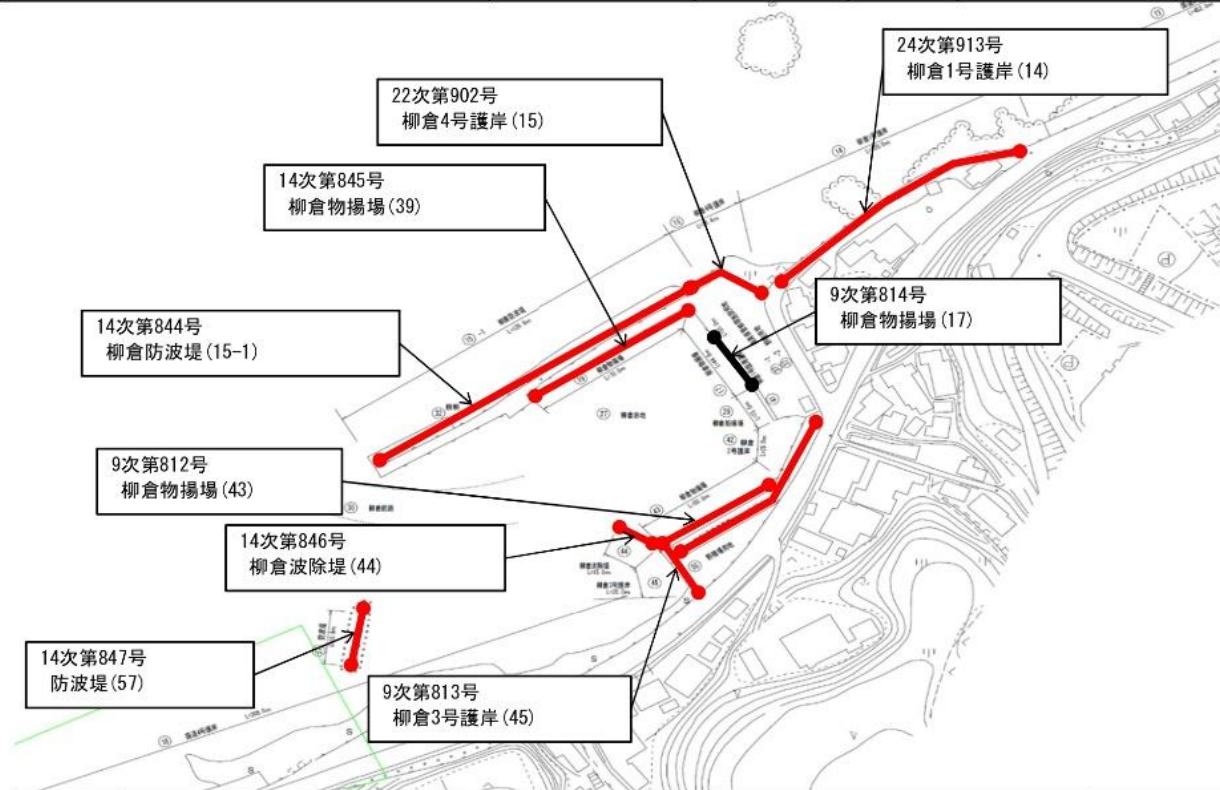
変更協議

被災施設・工事未着工

被災施設・工事施工中

被災施設・工事完成

藤波漁港 (ふじなみ)	漁港番号	種 別	所管	管 理 者	施工場所
	2410250	第1種	本土	能 登 町	石川県鳳珠郡能登町字藤波



工事番号	施設	大規模 通常	R6年度				R7年度				R8年度				R9年度				復旧概要
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
912	間島第1防波堤 (1)	大規模																	L=50m (本体工L=50m)
846	柳倉波除堤 (44)	大規模																	L=5m (消波工N=22基)
844	柳倉防波堤 (15-1)	大規模																	L=132.2m (本体工L=132.2m、消波工N=29基)
847	防波堤 (57)	大規模																	L=18.9m (基礎工L=20.9m、本体工L=18.9m、被覆工L=20.9m、消波工N=103基)
819	宮倉東護岸 (11)	大規模																	L=34.6m (本体工L=34.6m、舗装工A=69.2m2、止壁工L=30.8m、側溝工L=5.2m)
813	柳倉3号護岸 (45)	大規模																	L=17.6m (上部工L=17.6m、舗装工A=55m2、排水構造物工L=16.5m)
902	柳倉4号護岸 (15)	大規模																	L=37.3m (上部工L=37.3m)
817	間島内港1号護岸 (47)	大規模																	L=5.2m (本体工L=5.2m、CON舗装工A=11m2)
815	間島内港4号護岸 (50)	通常																	L=4.7m (本体工L=4.7m)
814	柳倉物揚場 (17)	通常																	L=31.4m (舗装工A=73m2、止壁工L=31m、側壁工L=2m)
845	柳倉物揚場 (39)	大規模																	L=68.5m (本体工L=68.5m、基礎工L=68.5m)
812	柳倉物揚場 (43)	大規模																	L=51.9m (本体工L=11.9m、上部工L=51.9m、舗装工A=117m2)
816	間島物揚場 (51)	通常																	L=20m (本体工L=20m、CON舗装工A=46m2)
818	間島物揚場 (52)	通常																	L=30.2m (舗装工A=72m2、止壁工L=21m、側壁工L=1m)
820	柳倉波除堤 (44)	大規模																	L=49.3m (舗装工A=206m2、側溝撤去新設L=94m)
913	柳倉1号護岸 (14)	大規模																	L=84.6m (本体工L=56.9m、舗装工A=60m2)

海上工事

陸上工事

測量・調査

地質調査

設計

工事

上段：予定

下段：実績

変更協議

被災施設・工事未着工

被災施設・工事施工中

被災施設・工事完成

03

教育施設の 復旧・復興見通しについて

(教育委員会事務局長)

小学校施設の今後の見通し

施設名	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度 以降
宇出津小学校	 復旧工事完了				
鵜川小学校	 現在工事中、R7年度中 完成予定				
小木小学校	 復旧工事完了（R7年10月）				
柳田小学校	 入札不調が続き現在工事内容等を再検討し応札方法を調査中				
松波小学校	仮設解体・グラウンド整備 現在は仮設校舎、新築及び解体の実施設計中 仮設解体・グラウンド整備				

中学校施設の今後の見通し

施設名	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度 以降
能都中学校	 復旧工事完了				
小木中学校	 復旧工事完了				
柳田中学校	 校舎と体育館は工事中 → R 7 年中に完成予定 外構工事は発注準備中 → R 7 年度中に完成予定				
松波中学校	 復旧工事設計中 → R8年3月までに復旧工事完了予定				

公民館施設の今後の見通し

公民館名	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度 以降
秋吉	 現在新築工事発注準備中、R8年度 完成予定				
不動寺	 現在実施設計中、R8年度 新築及び解体工事予定				
高倉・神野 鵜川・瑞穂 岩井戸	 R8年度から順次建替えの設計・工事を進めて行く予定 (高倉 → 瑞穂 → 鵜川 → 神野 → 岩井戸)				

【公民館全般】 全15公民館のほぼ全てにおいて、壁のクラックや駐車場の亀裂などの被害。公民館等社会教育施設は今年度から国の災害復旧事業を開始。国に事業申請し順次復旧工事を進める。また、今後旧耐震基準の公民館（築40年越えが6公民館）建替を計画的に行う予定。

04

児童施設の 復旧・復興見通しについて

(健康福祉課長)

児童施設の今後の見通し

施設名	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度 以降
柳田保育所	 復旧工事完了、R7年度 外構工事完了予定				
こどもみらい センター	 河川災害復旧工事との調整後、R8年度 復旧工事予定				
まつなみキッズ センター	解体工事予定 R7年度 修正実施設計、R8年度 新築（改築）工事予定 R9年度 解体工事予定				

05

公共施設個別施設計画見直し について

(企画財政課長)

公共施設個別施設計画の検討概要

〈計画の概要〉

公共施設等総合管理計画：高度成長期以降に整備された公共施設の老朽化に対応し、人口減少・財政制約下でも持続可能なまちを実現するため、施設の統廃合・長寿命化方針を示す町全体の資産の戦略的管理計画（アセットマネジメント計画）。

公共施設個別施設計画：総合管理計画を受け、各施設の存廃・改修時期・ライフサイクルコストを具体化し、優先順位を付す実行プラン。

〈計画の位置づけ〉

本計画は、本町の上位計画である「能登町総合計画」、「能登町創生総合戦略」との整合性を図り、各政策分野の中で、公共施設等の取組みに対し、横断的な方針を示す計画です。

〈計画期間と検討経緯〉

現在、第1期計画を踏まえた第2期計画の策定に向けた検討作業を行っています。策定にあたっては主に令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨による被害状況等も踏まえ、公共施設等の方針の見直しを行っています。

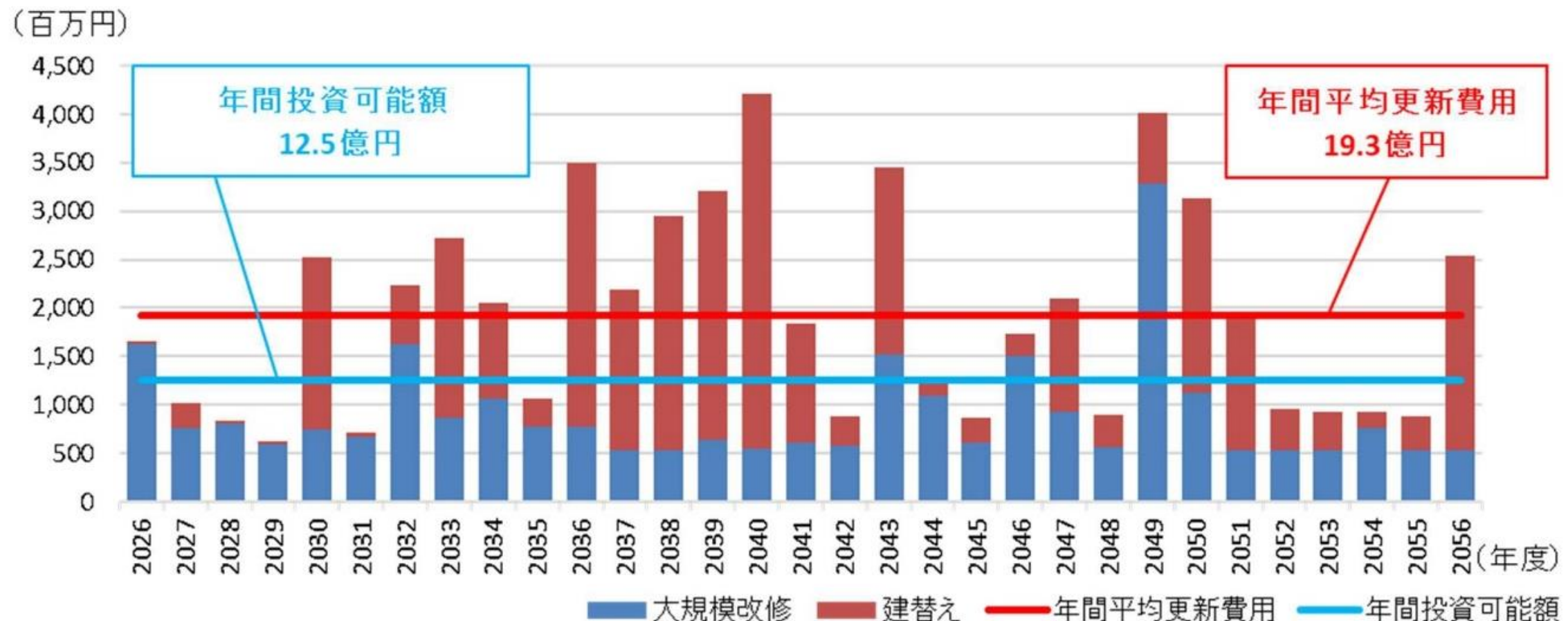
計画		2021-2030	2031-2040	2041-2050
第1期	◎能登町公共施設等総合管理計画 ●能登町公共施設個別施設計画	計画期間 2021～2040		
第2期	◎能登町公共施設等総合管理計画 ●能登町公共施設個別施設計画	見直し中	計画期間 2026～2045	
第3期	◎能登町公共施設等総合管理計画 ●能登町公共施設個別施設計画		計画期間 2031～2050	

公共施設個別施設計画の検討概要

〈将来更新費用の試算結果〉

本町の保有する建築系公共施設全施設にかかる更新費用を試算し、今後の更新必要額として「年間平均で19.3 億円」が必要という結果となりました。

町の年間投資可能額が12.5 億円であるのに対し、更新必要額が19.3 億円となり、約36%の財源が不足するという結果となりました。



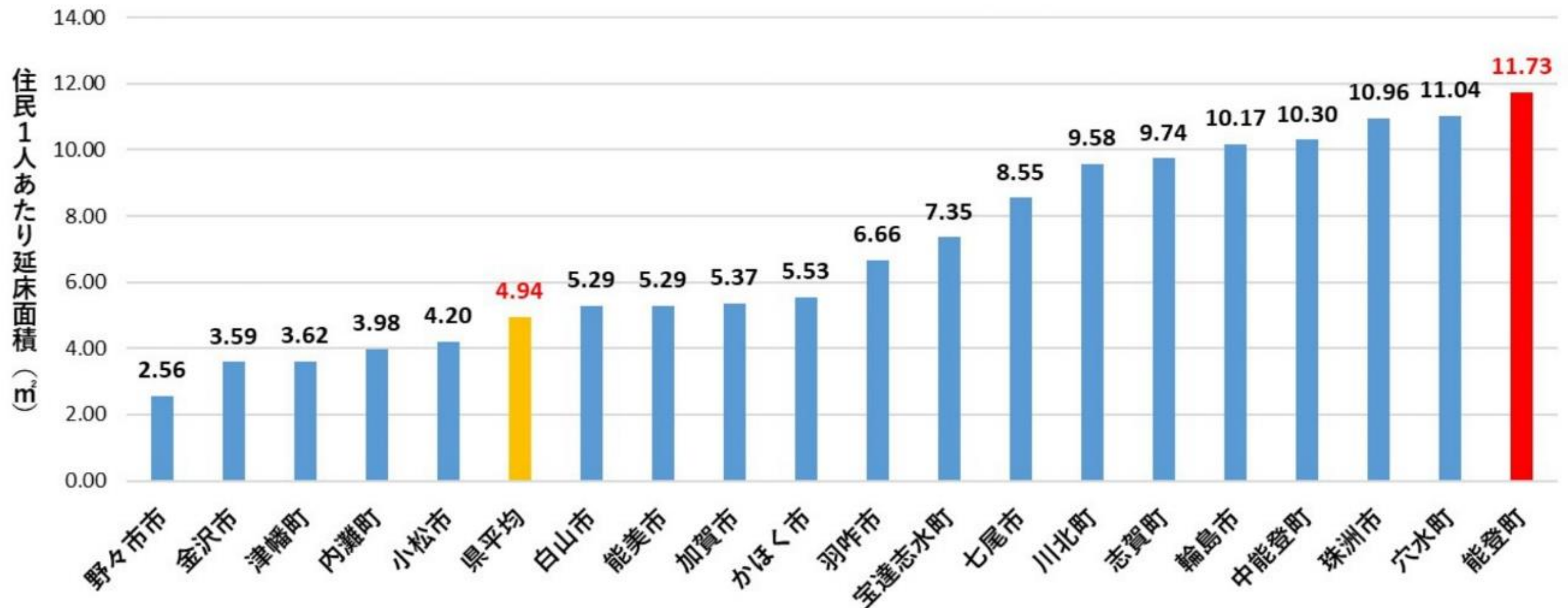
年間投資可能額 : 町の財源を勘案し、年間で公共施設の更新に充てることができる額

年間平均更新費用 : 公共施設を現状のまま保有した場合に必要な年間の更新(大規模改修、建替え等)

公共施設個別施設計画の検討概要

〈県内市町の住民1人あたりの施設延床面積〉

公表されている直近の数値では、住民1人あたりの建築系公共施設及びその他建築系公共施設（医療施設を除く）の延床面積は11.73㎡と県内で最も多く、県平均の 2.4 倍程度となっています。



出典) 令和5年度公共施設状況調査
住民基本台帳(令和6年3月)

公共施設個別施設計画の検討概要

〈本計画における数値目標(削減目標面積)〉

上記の財源不足割合を勘案し、公共施設の延床面積を計画期間内に 36%削減することを目標とします。
具体的な削減目標面積は以下の通りです。

対象延床面積	136,865 m ²
削減目標面積 ※上記面積の 36%	49,271 m ²

体育施設の再編手法・方向性(案)

【所管:教育委員会事務局】

施設名	再編手法	再編手法までの 施設のあり方	留意事項 将来の方向性
能都体育館 柳田体育館 内浦体育館	建物：除却 機能：集約化(新設)	既存の施設は除却する 新体育館建設までは、現状どおり一般開放している学校体育館での対応とする	能都(半壊)、柳田(一部損壊) 内浦(一部損壊、津波被害) 全て旧耐震施設 既存の3体育館は除却し、総合体育館を整備 総合体育館の整備場所は、柳田植物公園内で検討し、屋内プール・武道館と集約
能都野球場	建物：除却 機能：集約化(既設or新設)	能都和柳田は、震災前と同様の利用とする 内浦野球場を含めた内浦総合運動公園は、当面の間復旧工事の資材置き場等として使用する	当面は被災程度・利用状況等も踏まえ柳田野球場を維持し集約化 野球場の再整備方針は今後の利用状況等も踏まえ検討
柳田野球場	建物：維持or除却 機能：集約化(既設or新設)		
内浦野球場	建物：除却 機能：集約化(既設or新設)		

福祉施設の再編手法・方向性(案)

【所管:健康福祉課】

施設名	再編手法	再編手法までの施設のあり方	留意事項 将来の方向性
能登七見健康福祉の郷「なごみ」	建物：除却 機能：複合化・集約化（既設or新設）	既存の施設は除却し、跡地利用を促す 食堂、和室部分は施設利用の公募を行い、応札がなければ除却する	温泉とプール(大規模損壊) 食堂と和室など(一部損壊) 各小学校のプール機能を複合化し、総合体育館内に屋内プールを整備 温浴機能については民間による運営や他施設へ集約化 ※温泉とプール棟は除却 ※復興期において、民間の活用状況から和室と食堂部分などを残すことも検討
七見デイサービスセンター (なごみ併設施設)	建物：維持(譲渡・貸付)or除却 機能：廃止	施設利用の公募を行い、応札がなければ除却する	被災程度が小さいため、譲渡、貸付を検討

観光施設の再編手法・方向性(案)

【所管:ふるさと振興課】

施設名	再編手法	再編手法までの施設のあり方	留意事項 将来の方向性
国民宿舎能登うしつ荘	建物：民間譲渡or除却 機能： 集約化(やなぎだ荘)	震災前と同様に維持	民間参入を優先(宿泊機能がメイン) 宿泊施設に対する補助金制度の創設など、企業誘致に向けた取組を進める
国民宿舎能登やなぎだ荘	建物： 【宿泊棟】更新or除却 【御前】除却 【温泉】複合化or除却 機能： 【宿泊棟】 集約化(うしつ荘) 【温泉】 複合化(笹ゆり荘)	宿泊棟は維持とするが、当面の間は復旧・復興事業者の宿泊を優先する 温泉部分は、震災前と同様に維持する	宿泊棟(一部損壊) 御前(全壊) 民間参入を優先(宿泊・温泉機能) 宿泊施設に対する補助金制度の創設など、企業誘致に向けた取組を進める 温泉施設として考えた場合、民間参入を優先 笹ゆり荘との複合化等検討

観光施設の再編手法・方向性(案)

【所管:ふるさと振興課】

施設名	再編手法	再編手法までの施設のあり方	留意事項 将来の方向性
ふれあいの里施設 (レストラン花菖蒲、ふれあいハウス、合鹿庵、売店)	建物： 【合鹿庵・売店】維持 【花菖蒲】民間譲渡 【ふれあいハウス】転用 機能：維持・集約化・転用	震災前と同様に維持 ふれあいハウスは屋内遊具施設として改修	合鹿庵、売店は維持 レストラン花菖蒲は民間による利活用を検討 ふれあいハウスは屋内遊具施設へ転用

06

復興公営住宅の整備計画 について

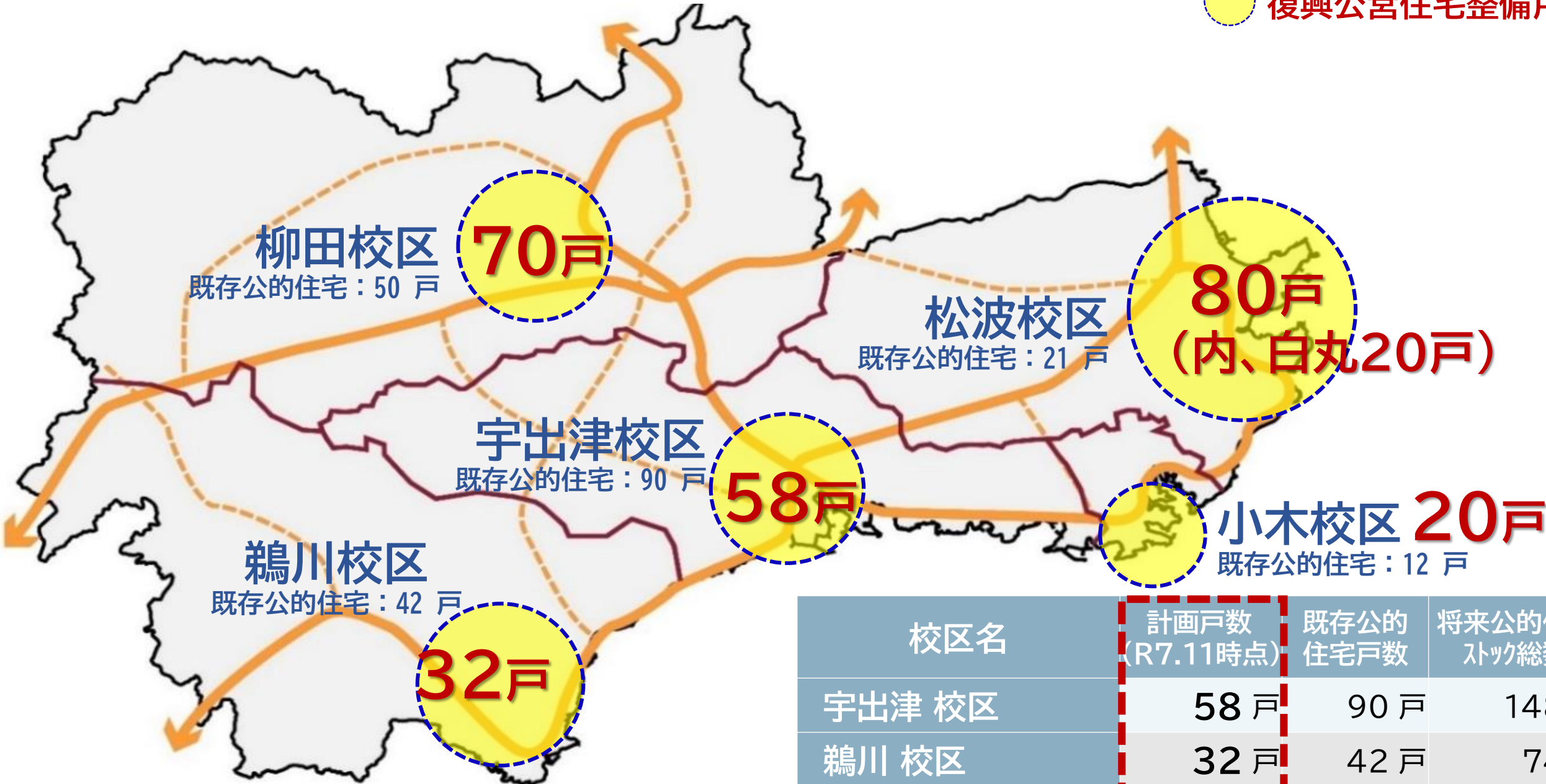
(復興住宅課長)

復興公営住宅の基本的な整備の考え方（全体計画）

整備方針	『能登町復興計画』（令和7年2月策定）で定める「再生と創造に向けた5つの柱」の分野別取組「くらしと地域コミュニティの再建」に位置づける「復興(災害)公営住宅の整備」を達成するため、「石川県復興公営住宅整備指針」を基に、 <u>地域特性や新しいコミュニティ形成、高齢者・障がい者等に配慮しつつ、安全・安心な生活環境</u> が持続する、良質な住まい(復興公営住宅)を供給するものです。
全体計画の 目 標	整備計画期間は能登町復興計画を基に、被災世帯の意向を確認した上で、ニーズに対し過不足のない復興公営住宅を整備します。
考 え 方	被災者ニーズとともに、能登町の都市構造や公的住宅ストックの状況および将来の住宅需要を見越して、地区別の供給戸数を計画します。
既存公的住宅 戸 数	215 戸（令和7年9月時点 用途廃止予定を除く）
整備計画 戸 数	260 戸（令和7年度に実施した意向調査の結果より供給戸数を設定）
整備地区設定	整備地区設定や具体的な整備場所は、意向調査において被災世帯が希望された地域・地区を基に、生活の利便性や住環境を重視し選定します。

校区別戸数

● 復興公営住宅整備戸数



校区名		計画戸数 (R7.11時点)	既存公的 住宅戸数	将来公的住宅 ストック総数
宇出津 校区		58 戸	90 戸	148 戸
鵜川 校区		32 戸	42 戸	74 戸
柳田 校区		70 戸	50 戸	120 戸
松波 校区	白丸以外	60 戸	21 戸	81 戸
	白丸	20 戸	—	20 戸
小木 校区		20 戸	12 戸	32 戸
合計		260 戸	215 戸	475 戸

意向調査結果による整備戸数の整理

入居希望あり
255 件
(A 票回答)

入居要件該当
206 件
(全体調査票で 1～6 を適切に回答)

入居要件不明
38 件

入居要件非該当
11 件

入居希望なし
656 件
(A 票に回答があるが、B 票で明確な再建意向があるもの(5件)、入居希望人数「0」(1件)は入居希望なしと判断)

未回答
570 件

調査結果戸数

244 件

○入居要件該当及び不明で入居希望あり(244 件(206+38))

送付先	送付数(A)	回答数(B) 回収率(B/A)	入居希望数(C) 入居希望率(C/B)
建設仮設	532	419 (78.8%)	208 (49.6%)
みなし仮設	134	91 (67.9%)	16 (17.6%)
県内外の公営住宅・長期 避難世帯・自主避難者	28	13 (46.4%)	2 (15.4%)
半壊以上世帯(上記除く)	787	376 (47.8%)	18 (4.8%)
送付先不明※	-	12 (-)	-
合計	1481	911 (61.5%)	244 (26.8%)

○校区・公民館別の計画戸数(案)

2025.11.25 時点

校区別	調査結果 戸数	計画 戸数	地区別	詳細計画 戸数	住戸 形式	入居時期 (予定)	整備 状況
宇出津	57	58	宇出津第 1 団地 (旧しらさぎ保育所)	30	中層共同	R9年4月	設計中
			宇出津第 2 団地 (漆原町)	8	低層長屋	R9年度	用地交渉中
			宇出津第 3 団地 (瀨町)	16	中層共同	R10年度～	護岸・道路 工事完了後
			宇出津第 4 団地 (大竹町)	4(1)	低層長屋	R10年度～	護岸・道路 工事完了後
鵜川	32	32	鵜川団地 (鵜川支所裏)	24	低層長屋	R10年度～	用地検討中
			瑞穂団地 (旧瑞穂小中学校跡地)	8	低層長屋	R9年度	発注方式 検討中
柳田	55	70	柳田第 1 団地 (天坂及び五郎左工門分)	52(15)	低層長屋	R10年4月	公募準備中
			柳田第 2 団地 (建設仮設やなぎだ第 1 団地)	18	低層長屋	R11年度	他団地 完成後
松波	80	80	松波第 1 団地 (旧サロニカ駐車場跡地)	27	中層共同	R9年4月	設計中
			松波第 2 団地 (旧シメノドラッグ跡地)	24	低層長屋	R9年度	用地交渉中
			松波第 3 団地 (建設仮設まつなみ第 2 団地)	9	低層平屋	R11年度	他団地 完成後
			白丸	20	低層長屋	R9年度	基盤 設計中
小木	20	20	小木	20	低層長屋	R10年度～	用地検討中
合計	244	260					

○意向調査結果(校区・公民館別の詳細状況(244 件))

校区別	公民館名	第一 希望	第二希望 以降	高台 希望	払下げ 希望
宇出津	宇出津	52	14	1	1
	高倉	1			
	神野	3			2
	三波	1	4		
鵜川	鵜川	24	7	4	1
	瑞穂	8	5		
柳田	柳田	25	21		2
	上町	25	15		1
	小間生	3	5		
	岩井戸	2	3		
松波	松波	57	8	1	7
	秋吉	2	2		
	不動寺	1	2		1
	白丸	20	2		
小木	小木	20	7	1	2
合計		244		6	17

凡例：()内は調整戸数を示す(内数)。

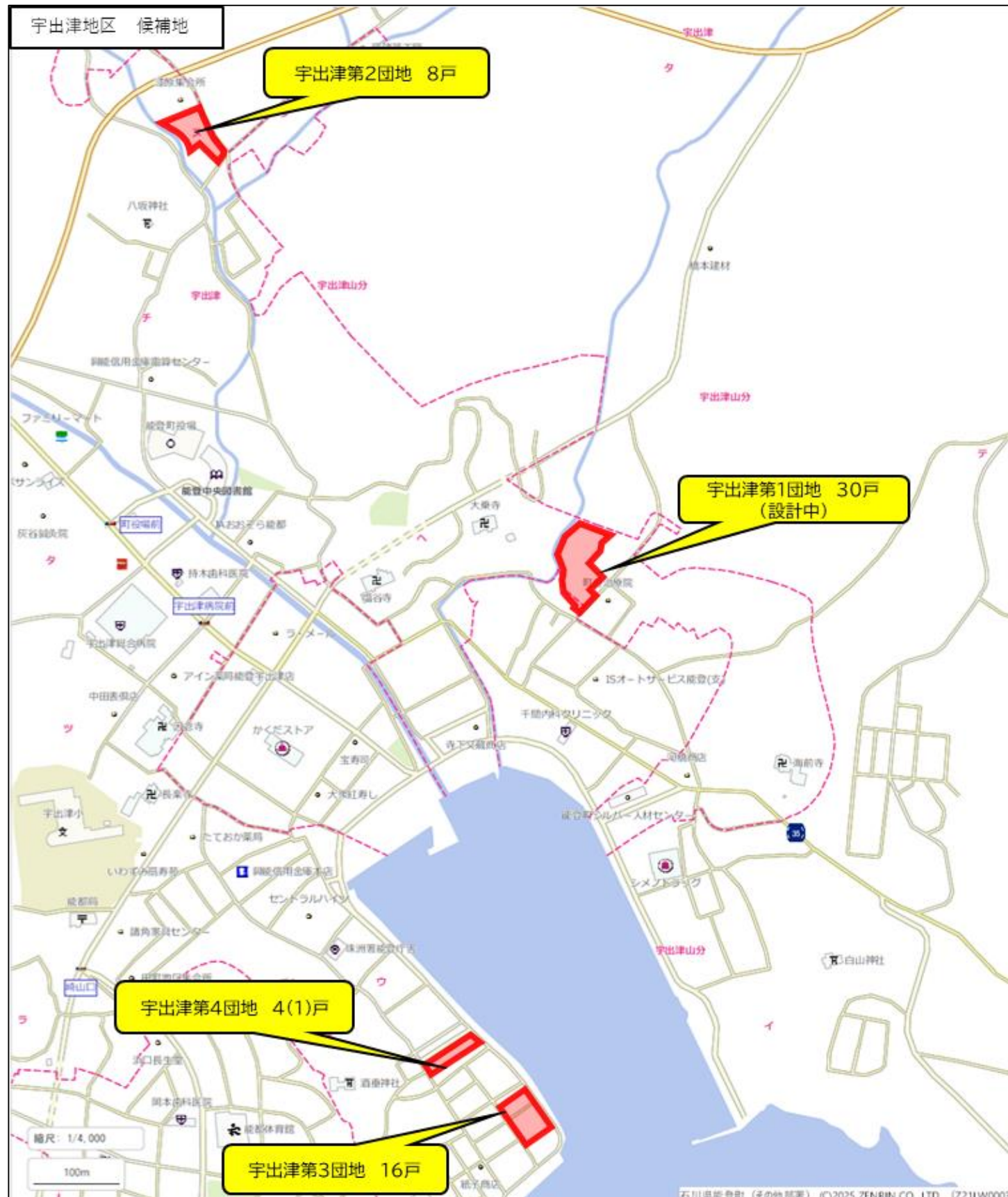
校区・公民館別の計画団地一覧

2025.11.25時点

校区別	計画戸数	地区別	詳細計画戸数	住戸形式	入居時期(予定)	整備状況
宇出津	58	宇出津第1団地 (旧しらさぎ保育所)	30	中層共同	R9年4月	設計中
		宇出津第2団地 (漆原町)	8	低層長屋	R9年度	用地交渉中
		宇出津第3団地 (濱町)	16	中層共同	R10年度～	護岸・道路工事完了後
		宇出津第4団地 (大竹町)	4(1)	低層長屋	R10年度～	護岸・道路工事完了後
鵜川	32	鵜川団地 (鵜川支所裏)	24	低層長屋	R10年度～	用地検討中
		瑞穂団地 (旧瑞穂小中学校跡地)	8	低層長屋	R9年度	発注方式検討中
柳田	70	柳田第1団地 (天坂及び五郎左工門分)	52(15)	低層長屋	R10年4月	公募準備中
		柳田第2団地 (建設仮設やなぎだ第1団地)	18	低層長屋	R11年度	他団地完成後
松波	80	松波第1団地 (旧サロニカ駐車場跡地)	27	中層共同	R9年4月	設計中
		松波第2団地 (旧シメノドラッグ跡地)	24	低層長屋	R9年度	用地交渉中
		松波第3団地 (建設仮設まつなみ第2団地)	9	低層平屋	R11年度	他団地完成後
		白丸	20	低層長屋	R9年度	基盤設計中
小木	20	小木	20	低層長屋	R10年度～	用地検討中
合計	260	13団地	※()内、調整戸数を示す(内数)			

宇出津校区 | 団地全域

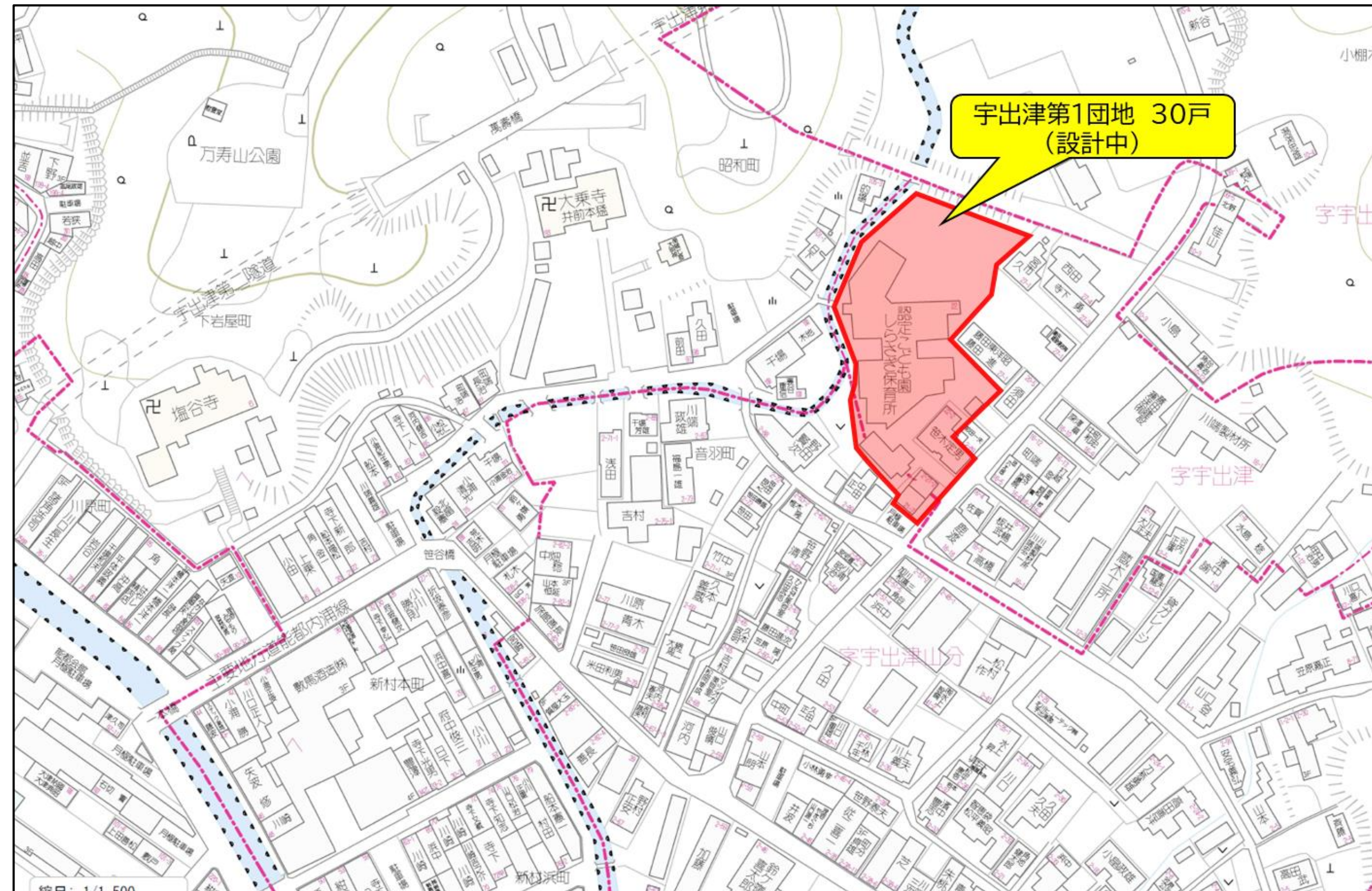
2025.11.25時点



宇出津第1団地 (旧しらさぎ保育園跡地)

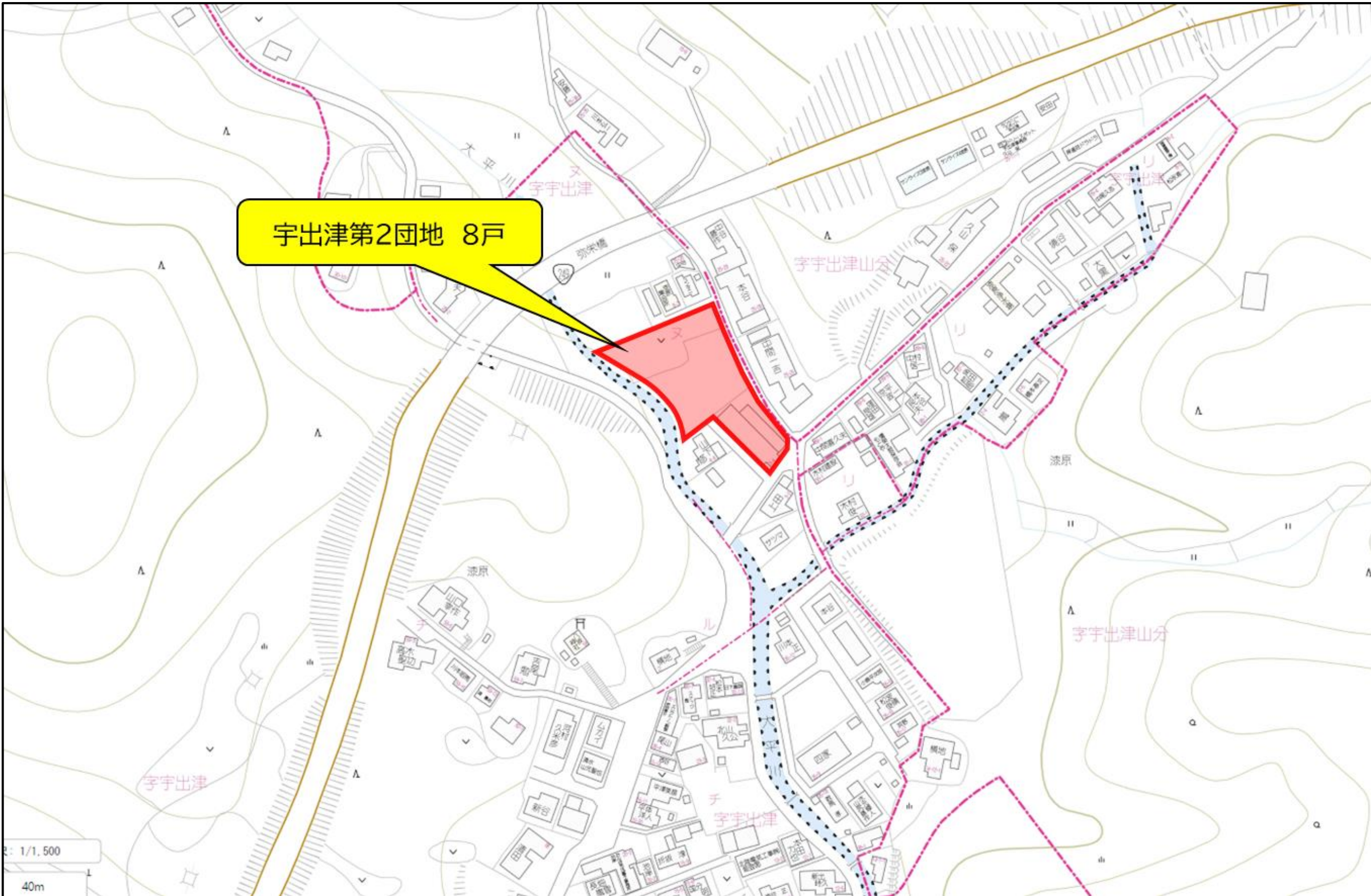
2025.11.25時点

宇出津第1団地 30戸
(設計中)

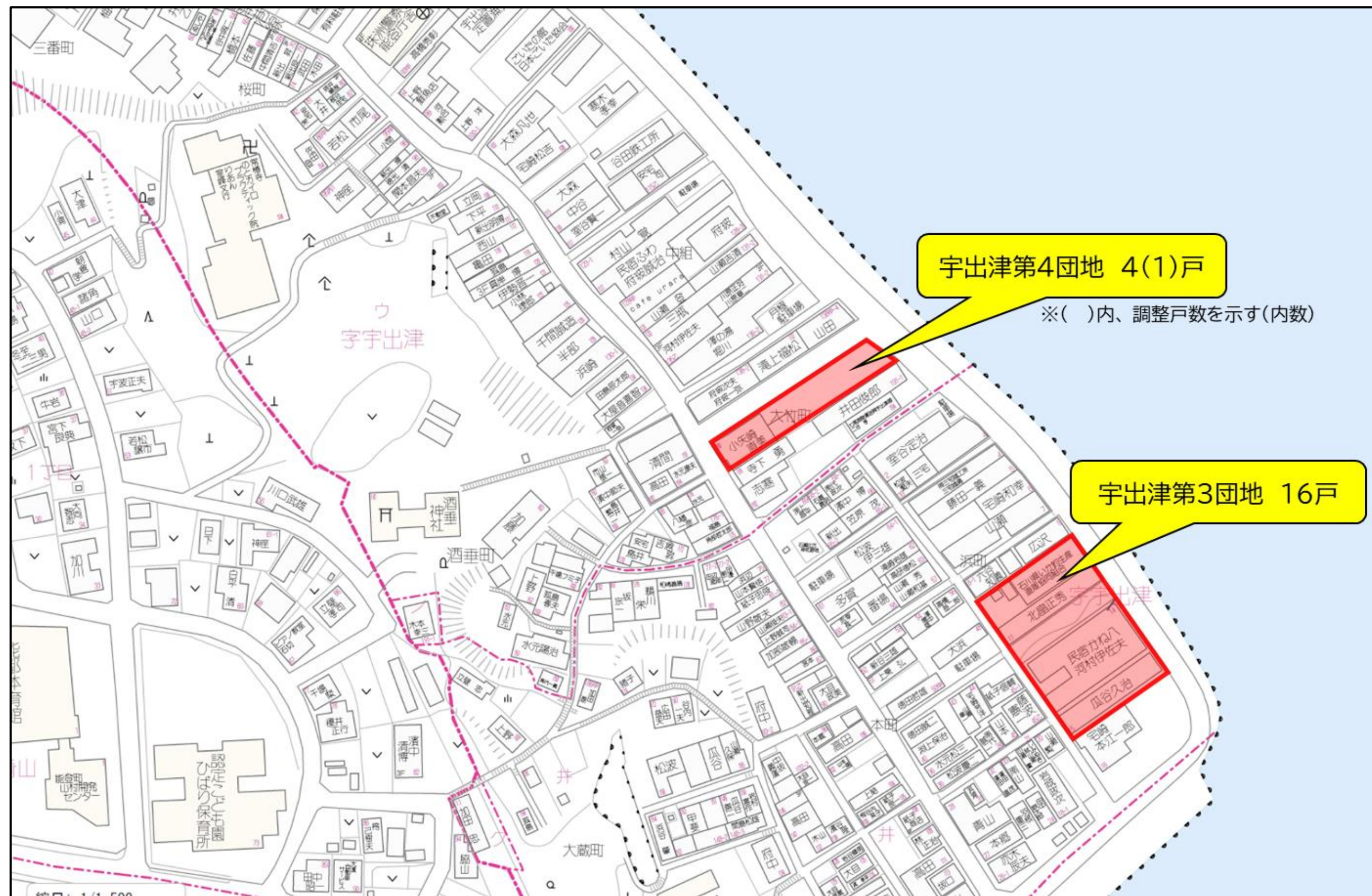


宇出津第2団地 (漆原町)

宇出津第2団地 8戸



宇出津第3団地（濱町） 第4団地（大竹町）



07

地区別復興 まちづくり計画について

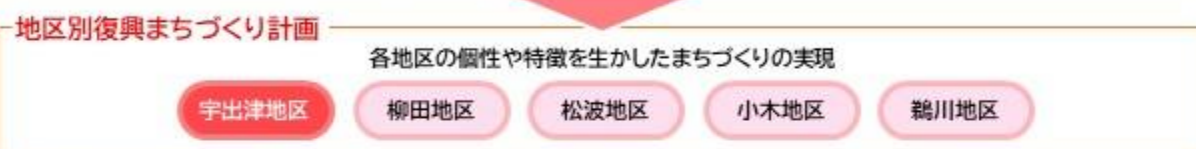
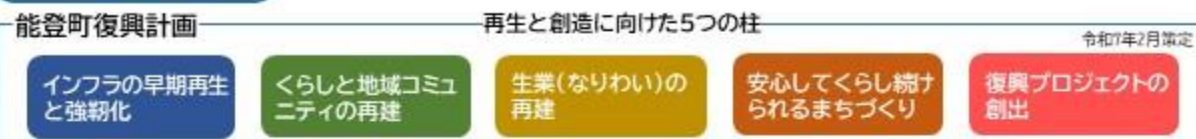
(復興推進課長)

宇出津地区

宇出津・高倉・神野公民館区
復興まちづくり計画案(概要)

策定目的

5小学校区を計画対象としています。
令和7年度から令和14年度までの8年間を計画期間とします。



策定までの経緯

- 15名の委員が参加する「宇出津地区復興まちづくり協議会」で議論を行いながら、計画策定を進めました。委員は、町会区長会連合会代表、小学校 PTA 関係者、公民館関係者、町復興推進委員、一般公募等より選定しました。
- 復興ディレクターとして豊島先生に参画・支援いただきながら計画策定を進めています。
- 策定経過はニュースレターで町民の皆様に周知しながら進めてきました。

復興ディレクター(学識者)紹介

金沢大学 融合研究域融合科学系
講師

とよしま ゆうき
豊島 祐樹

【宇出津地区との関わり】
活動交流拠点「NOTO CROSS PORT」の基本構想・基本設計

協議会の様子



ニュースレター



6月

第1回宇出津地区まちづくり協議会 6月6日

計画の概要・検討スケジュール等を共有した上で、宇出津地区の特徴や今後の宇出津地区のまちづくりに求めることを意見交換しました。

7月

宇出津地区住民ワークショップ 7月17日

町民の中から参加者を募集(29名参加)し、5つのテーマ(暮らしの機能の維持・確保、交流の場づくり、災害に強いまちづくり等)で意見交換しました。

9月

第2回宇出津地区まちづくり協議会 9月29日

第1回協議会やワークショップでの意見を踏まえ事務局が作成した計画骨子を基に、目指すべき将来像や復興まちづくりの施策を意見交換しました。

11月

第3回宇出津地区まちづくり協議会 11月17日

事務局が作成した計画案を基に、重点事業のうち、地域で次年度から着手を目指す取組の具体化に向けて意見交換しました。

12月

計画完成予定

目指すべき将来像

歴史の鼓動を未来へとつなぐ、集いと賑わいのまち 宇出津

本町全体を牽引する中心拠点として、商業・医療・子育て・教育等の生活サービスを維持するとともに、町民及び観光客等の来訪者も含めて多くの人々が集う交流拠点づくりや、豊かな里山・里海の環境を生かした漁業・農林業・商業の振興により、本町全体の暮らしの充実につながるまちなかの賑わいを創出します。また、育児、教育環境の充実など、子供や子育て世代が暮らしやすいまちづくりを進めます。さらに、今回の地震及び豪雨の被災経験を踏まえた防災性の高い安心・安全なまちづくりを進めるとともに、被災によって新たに生まれた外部とのつながりを生かし、仕事、観光、ボランティアなどそれぞれの目的を持った来訪者が宿泊・滞在できるまちなかの形成を目指します。

基本目標

- 1) 中心拠点としての活気があり人々が集うまちづくり
- 2) 歴史的な街並みとともにある暮らしやすいまちづくり
- 3) 里山・里海の営みとまちの商いの掛け合わせによる賑わいづくり

復興まちづくりの施策

- 復興まちづくり協議会や住民ワークショップでの地域からの意見と復興計画を踏まえて、特に重点的・先導的に取り組むべき事業を「重点事業」として設定しました。

重点事業1 ノトクロスポートの再建

ノトクロスポートは、元々家具店の建物を改装して、能登町で活動する人々が集まる場所として運営されていましたが、震災で建物が被害を受け、その後解体されました。現在、能登町定住促進協議会と能登町が中心となって、ノトクロスポートの再建を進めています。この新しい施設は、震災や豪雨の影響で新たに生まれた外部とのつながりをさらに強め、交流できる場所として活用される予定です。



震災前のノトクロスポート

重点事業2 空き店舗活用・空き地活用による商店街の賑わいづくり

これまでの人口減少に加えて、震災により飲食店・商店の閉店や空き地が増えたことにより、まちなかの賑わいが失われつつあります。商店街は地域の暮らしを支えるだけでなく、交流の場やまちの顔でもあるため、活気をとり戻し維持する取り組みが求められます。そのため、民間事業者による空き店舗、空き地活用の支援、誘致を進めます。

重点事業3 公共交通とシェアリングサービスの相互補完による交通体系づくり

能登町内では、公共交通として路線バス、住民混乗スクールバス、予約制乗合タクシーが運行されているほか、今後、石川県による奥能登2市2町共通AIオンデマンド交通システムの運行が予定されています。持続可能な交通環境の創出に向け、「能登町地域公共交通計画」に基づく公共交通ネットワークの構築を進めます。また、地域が主体となったライドシェアや、まちなかの移動を支えるシェアモビリティ、交通結節点の整備を検討します。

重点事業4 能都体育館跡地及び隣接地の活用

能都体育館は、これまで町営施設として町民の様々な活動に利用されてきましたが、震災により甚大な被害を受け、能登町の公共施設の見直しに併せて施設は除却する方針です。保育園や各種学校からも近く、都市公園と隣接しており一体的な利用が期待できるポテンシャルを有していることや、こどもの居場所や運動できる場所のニーズが高いことも踏まえて、体育館跡地の利活用について検討します。



能都体育館

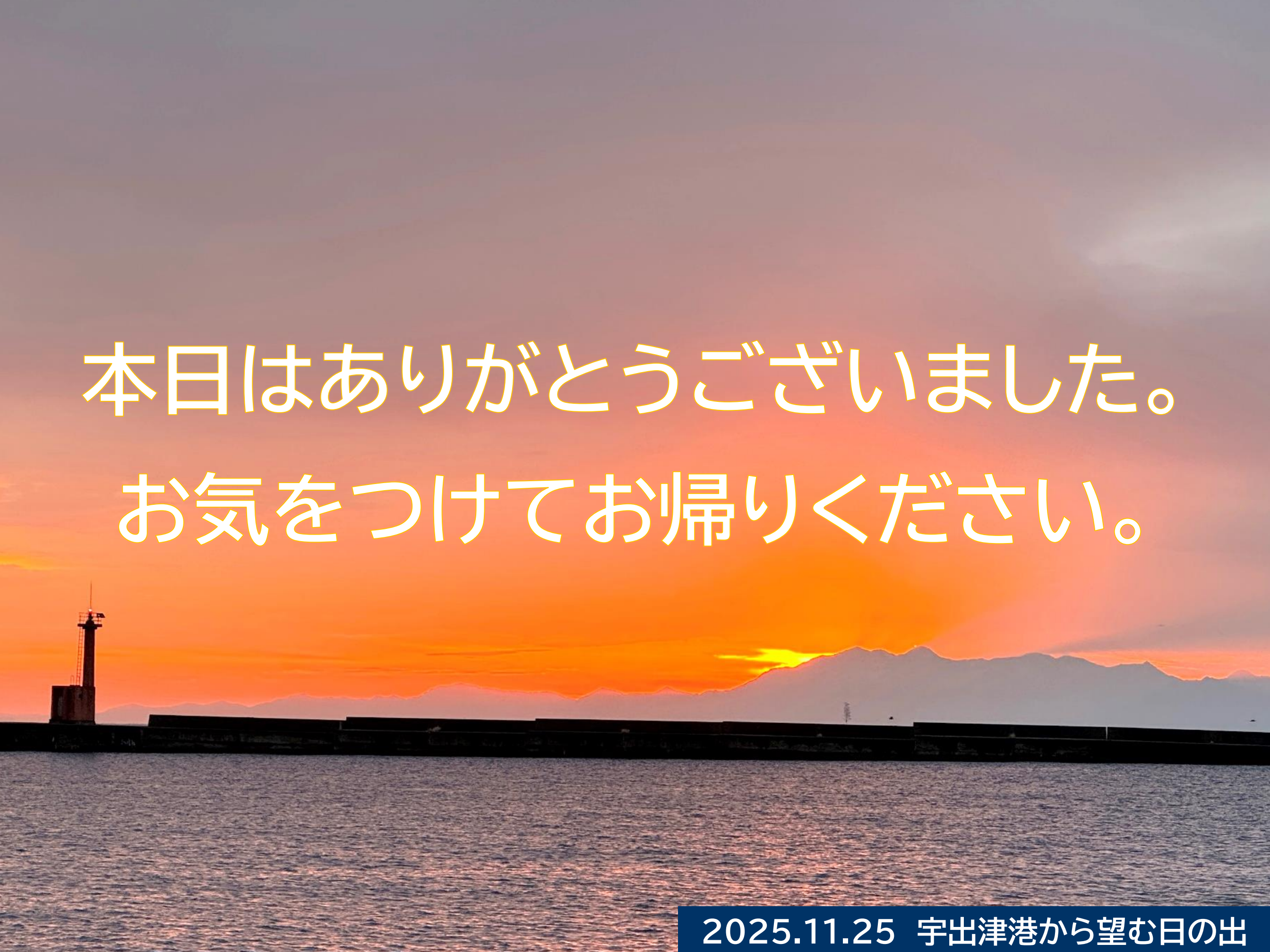
意見交換

01 インフラの復旧・復興の見通し

02 公共施設個別計画の見直し案

03 復興公営住宅の整備計画案

04 地区別復興まちづくり計画案



本日はありがとうございました。
お気をつけてお帰りください。